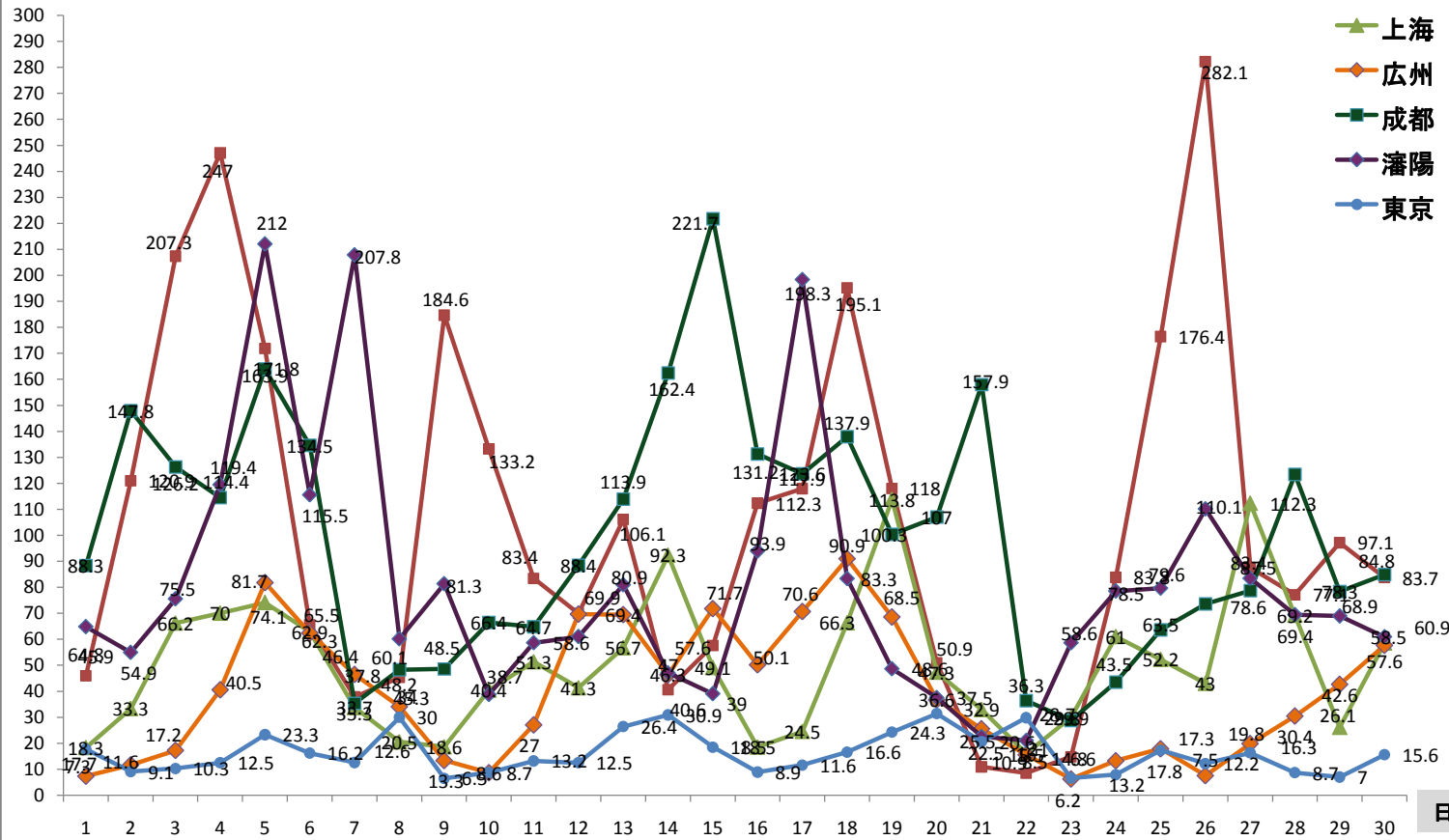


PM2.5数値
μg/m³

2016年11月のPM2.5



PM2.5の環境基準

	年平均値	日平均値	備考
中国	35 μg/m ³	75 μg/m ³	
日本	15 μg/m ³	35 μg/m ³	
韓国	25 μg/m ³	50 μg/m ³	
米国	12 μg/m ³	35 μg/m ³	
EU	25 μg/m ³	—	
WHO	10 μg/m ³	25 μg/m ³	指針値

2016年	11月度月平均値
北京	104.4 μg/m ³
上海	50.0 μg/m ³
広州	38.7 μg/m ³
成都	99.8 μg/m ³
瀋陽	81.0 μg/m ³
東京	16.1 μg/m ³

「環境保護部が中国国内の深刻な大気汚染を承認。改善には1兆7500億人民元(約29.5兆円相当)を要する」(上)

イーストウェスト・櫻華メディカルセンター 医療研究班
一参考消息網 CANKAOXIAOXI.COM 2016年12月7日

中国の政府関係者は、広東省で開催された環境保護に関するフォーラムにて、中国が大気汚染のほぼ全ての分野において、世界で最上位にあることを認めた。またそれは、二酸化硫黄、一酸化窒素、炭素においても同様である、と。香港『South China Morning Post』12月6日付HPの発表によると、北京、天津、河北省(京津冀地区)は、世界で最も汚染が深刻な地域の1つとなっていることを、専門家が更に指摘した。メディアは、環境保護部環境計画院総工師・王金南の話を引用して、次のように伝えている。「明年までに、中国国内の大気汚染を減らすとの目標実現には、1兆7500億人民元(16年12月25日現在、1元16.881円の換算レートにて、約29.5兆円に相当)の資金が必要である。資金の欠如が、この現状の大気汚染を改善する事業の遂行に、最大の障壁となっている。」

先頃開催された「2016中国環境保護上場企業サミット」の席上、王金南氏は「ほぼ全ての汚染物質の排出量、二酸化炭素の排出量ともに、中国は世界で最高となり、大気全体の圧力はかつて無いレベルにまで達している」と。続けて王氏が語る。「北京、天津、河北省のエリアは、大量の汚染物を排出して、直接的にPM2.5の濃度を上げる結果を招いている。そして、全国を見れば、最近の数十年前で、視界は平均約50キロメートルほど低下している。北京、天津、河北省はもはや世界で最も大気汚染が深刻な地域の1つとなった。」

本資料は、2016年12月12日現在の環境省「PM2.5モニタリングデータ(海外)」の日平均値を基に、当院において作成しております。尚、数値は、一定期間の精査を経て、修正される場合があります。詳しくは、同省HPをご覧ください。東京は千代田区神田司町の日平均値を記載。